

[第9回マスタース甲子園愛知大会規則]

公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則、ならびにマスタース甲子園代表 OB 試合規則を原則とする。ただし、原則としてコールドゲームは適用しない。

1. 出場選手と出場チームについて

- 1) 出場選手は高校硬式野球部員・監督・コーチ・マネージャーの OB・OG であること。部員の OB・OG とは高校野球部に一時期でも在籍したことのある者とする。
- 2) 出場選手は学生野球（準硬式を含む）の現役選手・学生コーチ、社会人野球（企業チーム・クラブチーム）の現役選手、ならびに現役のプロ野球関係者ではないこと。女性選手の場合も同様とする。これらの OB・OG であるか、以下の場合については出場を認める。
 - ① 軟式野球の現役選手である場合。
 - ② 学生野球、社会人野球の関係者（監督・部長・コーチ・マネージャー）である場合。ただし選手兼任の場合は不可。
- 3) 学生野球の選手・学生コーチ、社会人野球の選手、プロ野球関係者は退部または引退した年度末（3月31日）までは出場を認めない。
- 4) 大会に出場するチームは、主催団体である全国高校野球 OB クラブ連合及び愛知県高校野球 OB 連盟の加盟 OB 校に限る。
- 5) 年齢については令和8年（2026年）4月1日時点を基準とする。（34才以下の選手の代わりに35才以上の選手をもって充てることができる。）
- 6) 大会開催が年度（行政年度）をまたぐ場合、出場に対する学年の捉え方は試合開催日を基準とする。
- 7) メンバー登録者は、監督やコーチ、代表者、部長、マネージャーを含め定数は無制限とし、登録者は全員が試合に出場することができる。
- 8) 現役の高校野球指導者（監督・部長等）が登録する場合は「愛知県高野連届出書」に必要事項を個別に記入し、愛知県高等学校野球連盟に事前に許可を得ること。

2. 投手規定

- 1) 34才以下のイニングでは27才以上とする。
- 2) 全て2イニング以内での登板とする（6アウトではない）。なお、34才以下のチーム及び35才以上のチームの両方で登板する場合でも通算2イニングとする。

3. 試合方法・時間

- 1) 4回まで（又は45分を越えて新しいイニングに入らない）を34才以下のチームで行い、5回から9回までを35才以上のチームで行う。5回以降は新たに1番打者から試合を行う。女性選手については、年齢に関わらず35才以上のチームで登録する。（34才以下のチームが時間の都合で3回までしか行わなかった場合、35才以上のチームは4回～9回までの6イニングを行う）
6回終了をもって正式試合とする。（雨天等の理由がある場合）
*雨天等で試合が6回終了前に中止となった場合は再試合とする。
- 2) 1時間50分（後攻攻撃終了時点）を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合は以下による。
*タイブレーク…35才以上のチームによる無死満塁方式で勝敗を決める《1イニングのみ（決勝戦は勝敗が決するまで）》。その際、打順は継続打順として、前回の最終打順を1塁走者とし2塁・3塁の走者は順次前の打者として、無死満塁の状態得点の多いチームの勝ちとする。これで勝敗が決定しない場合には、最終の攻撃メンバー9人でジャンケンを行う。
- 3) 各チームは35才以上のチームと34才以下のチーム、それぞれの先発メンバー・登録メンバーを専用のメンバー表に記入し、3枚を指定された集合時に係りの者へ提出すること。（メンバー表は愛知県高校野球 OB 連盟指定フォーマットを使用すること）
- 4) 守備中にタイムを取り、集合することは認めない。また、ボール回しはしないこと。

4.DH 制

- 1) DH 制採用は各チームの選択による。(DH に代わって守備に就くポジションは投手に限定しない)
- 2) DH を使用する場合は試合開始前に交換されるメンバー表に記載しなければならない。
- 3) 試合前に DH を指名しなかった場合、その試合で指名打者を使うことはできない。
- 4) DH は相手チームの先発投手に対して少なくとも 1 度は打撃を完了しなければ交代できない。ただし、相手チームの先発投手が交代したとき、または相手チームの先発投手交代前に DH が消滅した場合はその必要はない。
- 5) DH の打順は固定され、多様な交代によって打順を変えることはできない。
- 6) DH に代えて代打・代走を使うことができるが、DH に代わった打者・代走者は以後 DH となる。
- 7) 以下の場合以後、DH は消滅する。
 - ① FP (守備専門選手) が他の守備位置についた場合
 - ② DH の代打者・代走者がそのまま守備についた場合
 - ③ FP が DH に代わって打撃するまたは走者になった場合
 - ④ DH が守備についた場合
 - ⑤ 他の守備位置についていた選手が FP の守備位置についた場合

5.試合球

高校野球公式試合球を使用する。(試合球は大会本部にて用意)

6.バット

- 1) 木製バット、木片の接合バット、竹の接合バット、金属製バットが使用できる。
- 2) 金属製バットは 2024 年度より適用の新基準の物を使用する。
- 3) 木製バットは高校野球特別規則に則るが、BFJ マーク・NPB マークが表示されている物も使用できる。
- 4) 試合で使用するバットはメンバー表交換時に大会本部にて確認、承認を得る。
- 5) 大会本部で承認していないバットの使用が判明した場合、その時点で当該打者はアウトとなり、退場処分とする。

7.用具・ユニホーム

- 1) 硬式野球用具を使用すること (中学硬式用使用不可)。用具は全てチームで持参すること。
- 2) 参加選手のユニホームは統一されたものとする。(できるかぎり母校ユニホームと同様のものを着用するが、世代によるユニホームの違いは問わない)。
ロングパンツの着用は禁止とし、ストッキングを見せるように着用すること。
背番号については数字で 0~99 までとする。0 以下 (例えば 01) など及び同一番号の使用は不可とする。
試合出場メンバーは、ランナーコーチも含め全員が着用すること。
- 3) 金属スパイクの使用は認める。
- 4) 試合中、打者・走者及びランナーコーチは必ず両耳ヘルメットを着用すること。
- 5) 投手及び打者のネックウォーマー着用は認めない。
- 6) リストバンドの着用は禁止する。ただし、けが等の身体上の理由により着用が必要な場合には、試合前に大会本部に申し出を行い、許可を得ること。

8.その他

上記に記載していない事項が発生した場合には大会本部が判断するものとする。なお、大会参加者は大会本部の判断に従うこと。

【年齢に関する注記】

27 才以上 平成 11 年 (1999 年) 4 月 1 日 以前 生まれ

34 才以下 平成 3 年 (1991 年) 4 月 2 日 以降 生まれ

35 才以上 平成 3 年 (1991 年) 4 月 1 日 以前 生まれ